

全校朝会「運動会の詩」 10 / 24

赤組、白組、心を一つにして、ドキドキわくわく頑張った運動会から一週間が経ちました。開会式でお話をした「運動会の詩」をもう一度紹介します。

いよいよ近づく運動会。
ぼくは、走るのが大の苦手。
楽しいような・・・、うれしいような・・・。
不安と期待でいっぱいだ。
いつか、みんなを追いこして走ってみたい。

この子のように、みなさんもいろいろな思いを心に抱きながら運動会を迎えました。そして一人一人が全力で頑張ったからこそ、心から笑ったり、泣いたり、喜んだり、悲しんだりしましたね。それが“大事”です。

さて、運動会が終わり、いつもと変わらない学校生活が戻ってきました。毎日を楽しんでいますか？ 本当に大切なことは、このいつもの学校生活、毎日の授業にあります。運動会が、年に1回しかないのと同じように、今日という日も、年に1回しかありません。授業も同じです。というよりも、一生に一度しかありません。同じ授業は二度とありません。“今”この瞬間を大切にしっかりと学んでほしいと思います。

そして、そろそろ本格的な練習が始まる『音楽会』も同じです。大きな声で歌うことが大好きな子、歌や演奏が得意な子や苦手な子、みんな一人一人ちがいます。それでいいのです。運動会や毎日の授業と同じように、音楽会も“今”この瞬間を大切に、自分もお友達も、聴いてくださるすべての人たちが感動する、そんな音楽会にしたいですね。